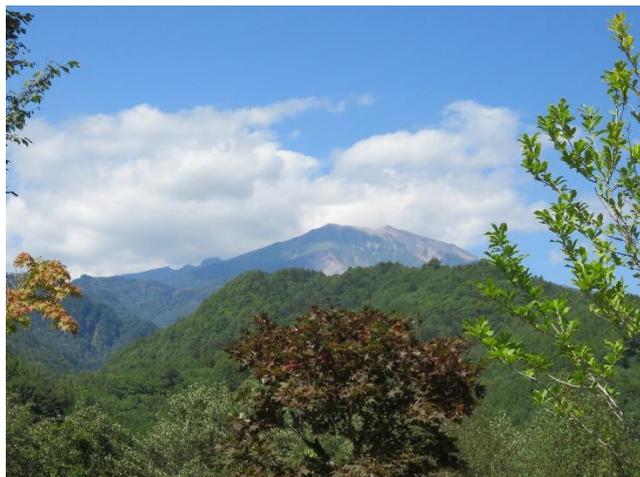


## 御嶽山噴火5年追悼式

58人が死亡、5人が行方不明となった2014年の御嶽山（3067メートル）の噴火から9月27日で5年となり、麓の長野県王滝村松原スポーツ公園で〈御嶽山噴火災害犠牲者追悼式〉が開かれた。

追悼式は同村と同県木曽町が主催し、園内に設置された慰霊碑の前で、式典には王滝村の瀬戸普村長や同県木曽町の原久仁男町長はじめ遺族、来賓、地元関係者、一般ら約137名が参加し、噴火発生時刻の午前11時52分に防災無線でサイレンが鳴らされ、参列者らが黙とうをささげた。御嶽教からは井上管長ほか10名が参加し、犠牲者に献花を手向けて冥福を祈った。

現在は、御嶽山の火口から約1キロ圏内の立ち入り規制は続いているが、昨年年9月、噴火後初めて木曽町側（黒沢口）から山頂に至る登山道の規制が解除され、一部の遺族らが山頂まで慰霊登山した。今年7月1日の山開きから登頂が可能となった。御嶽教からも7月2、3日、有志5名が慰霊登山を行った。王滝口登山道については、山頂付近の避難施設の整備が天候不順で大幅に遅れているとして、村は今年中の規制解除を断念すると発表した。



御嶽山遠望



追悼式場



追悼式参加者



追悼式献花